

第27回 芦原科学賞の受賞者決定 『受賞者の皆様おめでとうございます。』

芦原科学賞の受賞者と業績

芦原科学大賞

テーマ ガスパック包装に利用するバリアシュリンクフィルムの開発

受賞者：大倉工業株式会社

山下 英之、銭瓶 昌明、植松 章人

推薦者：大倉工業株式会社 代表取締役社長 神田 進

業績

受賞者は、トレイに盛り付けられた生鮮食品などに、窒素、二酸化炭素、酸素等のガスを充填しながら、オーバーラップすることを可能とするガスパック包装用バリアシュリンクフィルムを開発した。ガスバリア性を備えることから、精肉や鮮魚の切り身では2日程度、畜肉加工食品では7日程度、賞味期限を伸ばしたものが店頭販売されるようになった。近年、大きな社会問題となっている食品ロス削減をすることができる。また、優れた透明性や防曇性を有することから、食品の見栄えを向上させることにも成功した。

受賞者のコメント

栄えある芦原科学大賞を賜り誠にありがとうございます。ご支援頂いた関係者様に心より感謝申し上げます。ガスパック包装は、賞味期限を延長して食品ロスを削減することが可能であり、社会に貢献できる技術です。その普及を高める為、今後さらにバリアシュリンクフィルムの改善に努めてまいります。



芦原科学功労賞

テーマ 工業炉用途炭素繊維強化炭素複合材料の製品開発とそれによる事業拡大

受賞者：東洋炭素株式会社 CC素材製造部 町野 洋、尾藤 信吾、富田 修平

推薦者：東洋炭素株式会社 執行役員 グローバル開発本部長 森下 隆広

業績

受賞者は、機械工具や金属製品を製造する際に行われる熱処理の工程で使用される治具として、従来主流であった金属製の容器から、強度や弾性が高く、耐熱性に優れた炭素繊維強化炭素複合材料(C/C材料)で構成された治具の優位性について検証するとともに、網状やスプリング状の治具などの新たな製品を開発した。また、C/C材料の気孔分布を解析し、オイルの吸収防止に有効な封孔方法の開発、改良を行うことで、70%吸収削減の表面処理技術を開発した。これらによって、工業炉分野でのC/C材料製品の事業拡大に貢献した。

受賞者のコメント

この度は名誉ある芦原科学賞功労賞を賜りまして、誠にありがとうございます。長年に渡り携わってまいりました工業炉用 C/C 製品の開発と産業への寄与を認めて頂き、大変嬉しく感じております。今後も人の役に立つ技術を香川から発信し、産業振興に貢献する所存でございます。



芦原科学奨励賞

テーマ 皮膚上に耐水性被膜(フィルム)を形成する外用製剤の研究開発

受賞者：有限会社日本健康科学研究センター 岩倉 泰一郎

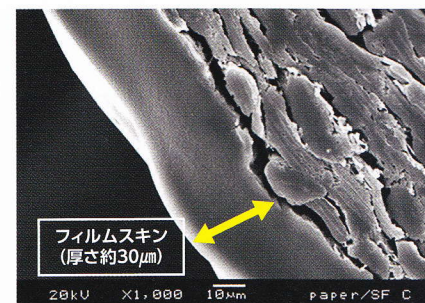
応募者：有限会社オルカ 代表取締役 三野 幸一

研究評価

受賞者は、肌に塗擦後、皮膚上に耐水性被膜を形成するフィルムスキンを開発することによって、パップ剤や軟膏剤等、汗や水で落ちやすい点や剥離時の皮膚への負担等、従来の外用製剤の弱点を解決し、効果の確実性と持続性を改善することに成功した。現在、医薬部外品や化粧品分野で商品化されているが、今後は医療分野(例：白癬菌対策)や介護分野(例：床ずれ対策)、感染症対策(例：マラリアやデング熱)等にも応用が期待できる。

受賞者のコメント

栄誉ある芦原科学奨励賞を賜り誠に有難うございます。閃きから15年の研究開発を通して確立したフィルムスキン技術が医療、介護、化粧等に広く応用され、少しでも社会に貢献出来ることを願っています。香川発の新技術の発展に更なる努力精進することを心に強く誓っています。



▲塗布後に紙の表面に形成されたフィルムスキンの断面部(×1000)

▼商品例 保湿剤



フィルムスキン技術の構造

